

## 春岡村の伝説

### 春岡村の方言・訛言・続 「チンペー」

チンペーとは何のことでしょう。

ヒントはイタチが敵に襲われたときに放つもので…正解はイタチの屁。

イタチは敵に襲われると、お尻の肛門腺から猛烈に臭い黄色いガスを噴出して、敵をひるませます。

昭和 26 年生まれの丸ヶ崎新田の農家のおじさんの話によると、子供の頃、イタチはこの辺でよく見られました。イタチが出ると大人（男）たちはみんなでイタチを追い込み、捕まえて毛皮を売って現金収入に当てました。子ども心に「いい大人が大騒ぎして…」と思いながらその様子を見ていたそうです。この時イタチのチンペーを浴びると何日も臭いが取れなくて閉口したそうです。

### ことわざ「イタチの最後っ屁（さいごっぺ）」 切羽詰まった時の最後の手段、窮余の策

イタチは水辺が好きで、泳ぐのも上手です。深作遊水地の周りを夜、自転車に乗って走っていると、時々目の前をイタチが横切ることがあります。雑食性でネズミや小鳥の卵やヒナ、カエル、昆虫、ザリガニなどを食べます。

### ことわざ「いたちの道切り」 イタチが目の前を横切ると別れの不吉な予兆

イタチはまた、家の天井裏や床下に巣を作ることもあります。丸ヶ崎新田の古い農家のお宅では、どこの家も夜になると天井裏で何者かがどたどた、ガサガサ大騒ぎなのだそうです。ネズミなのか、ハクビシン、アライグマ、それともイタチなのか。アーバンでコンクリートに囲まれて暮らしていると、都会に住んでいるような錯覚をおこしますが、実はとても自然豊かというか、田舎なのですね。



アーバンの付近に現れたイタチ  
2021.12.06 東三番街三好様撮影

ほかに春岡村の生き物の方言は例えばトカゲのことをカマギッチョ、カブトムシがサイカチとかセーカチ、カイツブリ（水鳥）はムグリッチョとかモグリッチョ、カタツムリはツノンデロでナメクジはナメンデロ。

東三番街 平山由喜